

第13回日本集団災害医学会総会 一般演題採択結果

第1会場:大ホール 第2会場:中ホール300 第3会場:中ホール200 第4会場:102号室 第5会場:101号室

【2月10日(1日目)】

セッションNo.	セッション名	演題No.	代表演者名	演題名	日	時間	会場
G1	被災者支援のための医療	G1-1	秋富 慎司	新潟中越沖地震へのDMAT派遣で考察された災害弱者への対応について	10	9:00-9:50	大ホール
		G1-2	矢部 多加夫	聴覚障害災害時要援護者支援情報機器の評価	10	9:00-9:50	大ホール
		G1-3	田中 彰	中越沖地震における歯科医療支援活動の概要について	10	9:00-9:50	大ホール
		G1-4	勝田 紘子	中越沖地震福祉避難所における要援護者に対する巡回口腔ケアの概要	10	9:00-9:50	大ホール
		G1-5	山川 尚人	中越沖地震歯科医療救護所における応急歯科診療の概要	10	9:00-9:50	大ホール
G2	災害看護	G2-1	今村 香代子	災害に対する教育・訓練 —看護部各部署の防災担当者会の役割—	10	9:55-10:55	大ホール
		G2-2	水口 志賀子	災害医療勉強会におけるニーズに応じた学習方法の検討	10	9:55-10:55	大ホール
		G2-3	岡崎 智絵	救急部看護師による災害看護への取り組み	10	9:55-10:55	大ホール
		G2-4	服部 佳永子	当院における災害看護教育の試み～模擬患者の症例を事前自己学習する方法を実施して～	10	9:55-10:55	大ホール
		G2-5	山本 由加里	看護部オープンセミナーにおける災害訓練	10	9:55-10:55	大ホール
		G2-6	鴛田 猛	災害看護セミナーでの連続2回演習における学習効果について	10	9:55-10:55	大ホール
G3	災害看護教育	G3-1	山本 あい子	日本における看護学博士後期課程における災害看護教育	10	11:00-11:50	大ホール
		G3-2	酒井 明子	日本における看護学学士課程の災害看護教育	10	11:00-11:50	大ホール
		G3-3	渡邊 智恵	日本における看護学修士課程の災害看護教育	10	11:00-11:50	大ホール
		G3-4	中信 利恵子	災害看護教育に関する考察—集団医療救護訓練(県、医師会、総合病院主催)に参加した看護学生の体験から—	10	11:00-11:50	大ホール
		G3-5	仲野 智恵子	陸上自衛隊衛生学校における看護師課程の災害看護関連教育訓練	10	11:00-11:50	大ホール
G4	中越沖地震における看護師の活動	G4-1	板垣 喜代子	地震被災地での看護師ボランティアの課題と可能性	10	13:30-14:20	大ホール
		G4-2	野村 純子	新潟県中越沖地震災害救護における看護師の保健活動	10	13:30-14:20	大ホール
		G4-3	山崎 達枝	2004年新潟県中越地震の被災看護師ストレス反応(1)—新潟県中越地震を体験した看護職のアンケート結果から—	10	13:30-14:20	大ホール
		G4-4	丹野 宏昭	2004年新潟県中越地震の被災看護師ストレス反応(2)—被災看護師のIES-R得点の検討—	10	13:30-14:20	大ホール
		G4-5	西上 あゆみ	新潟県中越沖地震における避難所活動—夏期の避難所の課題と看護の役割—	10	13:30-14:20	大ホール
G5	DMATの運用1	G5-1	庄野 聡	災害時ネットワーク・セントリック・オペレーションの整備要件	10	9:00-9:40	中ホール300
		G5-2	山本 武史	消防組織との連携及びコマンドコントロールを目的としたDMAT指揮隊長の設置	10	9:00-9:40	中ホール300
		G5-3	近藤 久禎	災害医療におけるメディカルコントロールの基盤としての指揮命令系統	10	9:00-9:40	中ホール300
		G5-4	奥村 徹	DMATに付加すべき機能、米国MED-1システムについて	10	9:00-9:40	中ホール300
G6	DMATの運用2	G6-1	金子 秀夫	当院におけるDMAT隊員の平常時の取り組み	10	9:45-10:35	中ホール300
		G6-2	石川 なつみ	新潟県中越沖地震における統括DMATの経験から～DMATの認識度調査を行って～	10	9:45-10:35	中ホール300
		G6-3	小林 道生	新潟県中越沖地震から学んだDMAT出動時の課題～迫り来る宮城県沖地震に備えて～	10	9:45-10:35	中ホール300
		G6-4	西田 沙織	当院でのDMATへの取り組み(看護師の立場から)	10	9:45-10:35	中ホール300
		G6-5	宮島 衛	DMATによる被災病院支援	10	9:45-10:35	中ホール300
G7	DMAT派遣と後方支援	G7-1	五月女 康作	DMAT出動時における後方支援のありかたについての検討	10	10:40-11:20	中ホール300
		G7-2	納谷 等史	ロジスティックからみた自治体病院DMATが現場活動を行うための問題点～能登半島沖地震、中越沖地震の派遣準備を経験して～	10	10:40-11:20	中ホール300
		G7-3	高野 博子	DMATにおける資機材管理と資機材装備の実際	10	10:40-11:20	中ホール300
		G7-4	楠 孝司	DMAT本部機能における支援体制	10	10:40-11:20	中ホール300
G8	DMATの養成	G8-1	阿南 英明	日本DMAT隊員養成研修会の効果的教育のための受講資格に関する検討	10	11:25-12:15	中ホール300
		G8-2	山下 進	DMAT訓練を基礎とし、各種機関と連携した災害時医療訓練	10	11:25-12:15	中ホール300
		G8-3	内藤 万砂文	赤十字からみた災害時医療の変化—日本DNAT教育は何をもたらしたか?—	10	11:25-12:15	中ホール300
		G8-4	森村 尚登	多数傷病者事故に対する災害医療教育プログラムの実践	10	11:25-12:15	中ホール300
		G8-5	丹治 友紀	DMAT隊員の危機管理方策～DMAT隊員の命を守るために～	10	11:25-12:15	中ホール300
G9	各地域でのDMATへの取り組み1	G9-1	甲斐 達朗	大阪DMATの設立	10	14:55-15:45	中ホール300
		G9-2	赤坂 理	神奈川県における統括DMATの課題と位置づけ	10	14:55-15:45	中ホール300
		G9-3	阿南 英明	自治体DMATとして神奈川DMATの実状分析と今後の取り組み	10	14:55-15:45	中ホール300
		G9-4	中野 実	日本赤十字社救護班を群馬DMATとして出動させるための運用計画の策定	10	14:55-15:45	中ホール300
		G9-5	行木 太郎	新潟県中越沖地震における群馬大学医学部附属病院の対応と群馬DMATの展望	10	14:55-15:45	中ホール300
G10	各地域でのDMATへの取り組み2	G10-1	森野 一真	地方・地域からみたDMATの活用と維持	10	15:50-16:30	中ホール300
		G10-2	小林 良三	福岡県災害派遣医療チーム(福岡DMAT)の運用への取り組み	10	15:50-16:30	中ホール300
		G10-3	佐々木 秀章	沖縄県におけるDMATの現況について～中華航空機火災事故を通して～	10	15:50-16:30	中ホール300
		G10-4	濱見 原	第1回四国DMAT連絡協議会の開催報告	10	15:50-16:30	中ホール300
G11	DMATと搬送	G11-1	大友 康裕	DMAT運用における次の課題—域内搬送—	10	16:35-17:15	中ホール300
		G11-2	五月女 康作	SCU内における効率的な患者情報管理についての検討	10	16:35-17:15	中ホール300
		G11-3	中田 敬司	日本DMAT広域搬送における被災地外拠点空港についての検討	10	16:35-17:15	中ホール300
		G11-4	武田 卓	広域搬送被災地外拠点におけるDMATとしての調整業務	10	16:35-17:15	中ホール300
G12	地域における災害訓練1	G12-1	久保山 一敏	平成19年度兵庫地区地震・津波防災総合訓練における医療活動:行政主導型多機関参加型実働訓練の限界	10	9:00-9:50	中ホール200
		G12-2	大江 毅	葛飾区医師会の災害時医療救護訓練における工夫点について(第7報)	10	9:00-9:50	中ホール200

第13回日本集団災害医学会総会 一般演題採択結果

第1会場:大ホール 第2会場:中ホール300 第3会場:中ホール200 第4会場:102号室 第5会場:101号室

【2月10日(1日目)】

セッションNo.	セッション名	演題No.	代表演者名	演題名	日	時間	会場
		G12-3	藤本 賢司	横浜エマルゴトレーニングシステムの展開～都市型災害を想定した傷病者対応～	10	9:00-9:50	中ホール200
		G12-4	石川 義彦	大規模事故を想定した葛飾区医師会と消防との連携訓練について	10	9:00-9:50	中ホール200
		G12-5	小早川 義貴	島根県立中央病院 災害週間する21うごく30	10	9:00-9:50	中ホール200
G13	マラソン大会	G13-1	沢本 圭悟	2007函館ハーフマラソンにおける新たな救護体制の構築	10	11:45-12:15	中ホール200
		G13-2	富岡 謙二	シティマラソン福岡の医療救護体制	10	11:45-12:15	中ホール200
		G13-3	中島 誠	マスギャザリングにおける救急医療体制の構築—川口マラソン大会の救急医療活動—	10	11:45-12:15	中ホール200
G14	地域における災害訓練2	G14-1	中川 雄公	DMAT隊とドクターヘリとの連携を想定した大規模地震対策総合訓練への参加経験	10	13:20-14:10	中ホール200
		G14-2	宮道 亮輔	災害時における消防と医療の連携に関して～愛知県集団災害訓練を行って～	10	13:20-14:10	中ホール200
		G14-3	森野 一真	山形空港災害医療対応訓練の課題	10	13:20-14:10	中ホール200
		G14-4	重岡 典子	杉並区地域防災計画に基づいた医療救護所訓練の現状と課題	10	13:20-14:10	中ホール200
		G14-5	加登 謙	地域各機関を巻き込んだ空港事故対応の意見交換会の開催	10	13:20-14:10	中ホール200
G15	地域における災害訓練3	G15-1	河瀬 亨哉	一般市民と病院職員が参加する地域防災プログラムの作成	10	14:15-15:15	中ホール200
		G15-2	下村 克己	CSMIにおいて医師はどのまで活動可能か? 京都府警察広域緊急援助隊とのCSM訓練に1年間参加して	10	14:15-15:15	中ホール200
		G15-3	鈴木 健介	電車テロを想定した消防演習に参加して～訓練を通して感じたこと	10	14:15-15:15	中ホール200
		G15-4	山崎 浩史	建替予定の住宅地での震災対策訓練に参加して	10	14:15-15:15	中ホール200
		G15-5	合原 則隆	フライトナース兼DMAT隊員として航空機事故対処総合訓練参加においての問題点	10	14:15-15:15	中ホール200
		G15-6	山野目 辰味	災害医療訓練とシナリオ	10	14:15-15:15	中ホール200
G16	災害事例1	G16-1	高階 謙一郎	メトヘモグビン血症を呈した集団災害の経験	10	15:20-16:30	中ホール200
		G16-2	鈴木 啓之	有機合成原料であるエピクロロヒドリンによる化学災害の1例	10	15:20-16:30	中ホール200
		G16-3	中島 康	温泉施設爆発事故に対する災害対応の経験～災害対応のための準備～	10	15:20-16:30	中ホール200
		G16-4	村田 裕二	マンション爆発事故でのトリアージの経験と問題点	10	15:20-16:30	中ホール200
		G16-5	井上 潤一	爆傷Blast Injuryに備える —“Blast Injuries Expert Symposium -Lesson and Learned from July 7th,2005, London“に参加して—	10	15:20-16:30	中ホール200
		G16-6	後藤 えり子	化学物質に汚染された患者により二次被害を生じた事例の検証	10	15:20-16:30	中ホール200
		G16-7	徳田 剛宏	造船所大型クレーン落下事故における救急対応	10	15:20-16:30	中ホール200
G17	マスギャザリング	G17-1	林 卓郎	Mass Gatheringとしての年末年始	10	16:35-17:25	中ホール200
		G17-2	許 智栄	神戸ルミナリエ2007	10	16:35-17:25	中ホール200
		G17-3	二宮 宣文	2007年F1グランプリにおける観客救護のメディカルコントロール	10	16:35-17:25	中ホール200
		G17-4	石川 秀樹	離島で開催されたモーターサイクルフェスティバルにおける医療支援	10	16:35-17:25	中ホール200
		G17-5	中尾 博之	イベント会場救護所における軽症患者に対する経口補水療法の可能性	10	16:35-17:25	中ホール200
G18	病院職員の災害に対する意識調査	G18-1	大原 美保	災害対応E-learningの前後での医師・看護師の災害意識の変化に関する分析	10	9:00-9:50	102
		G18-2	水谷 和郎	阪神淡路大震災被災地外における災害医療教育の困難性	10	9:00-9:50	102
		G18-3	今村 明美	大規模災害訓練後の看護師の防災に対する行動の変化	10	9:00-9:50	102
		G18-4	野本 慎一	災害医療に関する医療従事者意識調査	10	9:00-9:50	102
		G18-5	山下 友子	災害医療に関する意識調査～災害医療に携わる医療者と一般医療者の意識差はどこにあるか～	10	9:00-9:50	102
G19	国際救援1	G19-1	束田 吉子	ジャワ島中部地震復興期における人材育成支援活動の取り組み 第I報 プログラム立ち上げの経緯、カウンターパートとの協働	10	9:55-10:35	102
		G19-2	小原 真理子	ジャワ島中部地震復興期における人材育成支援活動の取り組み 第II報 災害看護セミナーの実際と評価	10	9:55-10:35	102
		G19-3	早瀬 香代子	ジャワ島中部地震復興期における人材育成支援活動の取り組み 第III報 災害看護とリハビリテーション看護の統合	10	9:55-10:35	102
		G19-4	大垣 昌之	ジャワ島中部地震復興期における人材育成支援活動の取り組み 第IV報 リハビリテーションTOTプログラムの実際と成果	10	9:55-10:35	102
G20	国際救援2	G20-1	横堀 将司	集団災害における健康教育—国際緊急援助隊医療チーム活動からの報告—	10	10:40-11:30	102
		G20-2	喜田 たろう	ケニア共和国 Ngao Sub- district Hospital 臨床検査室評価の試み	10	10:40-11:30	102
		G20-3	金田 正樹	忘れられたソマリア難民	10	10:40-11:30	102
		G20-4	峯岸 亜紀子	災害支援時の援助者を支えるポジティブ要因～ジャワ島中部地震におけるAMDA緊急医療支援活動を通して～	10	10:40-11:30	102
		G20-5	石井 美恵子	ジャワ島中部地震医療支援における巡回診療活動の評価	10	10:40-11:30	102
G21	マニュアル1	G21-1	宮道 亮輔	中規模災害マニュアルの作成と検証について	10	11:35-12:15	102
		G21-2	島津 和久	インシデントコマンドシステムに基いた災害対応マニュアルの策定	10	11:35-12:15	102
		G21-3	伊藤 暁子	当院救命センターに即した災害対策マニュアル作成への取り組み	10	11:35-12:15	102
		G21-4	三谷 眞里	災害時対策に対する意識向上へ向けての取り組み	10	11:35-12:15	102
G22	マニュアル2	G22-1	日宇 宏之	院内災害マニュアルの問題点を抽出するために行った院内災害訓練	10	13:20-14:00	102
		G22-2	北岡 大樹	災害プロジェクトチームによるマニュアル改訂・院内における意識の向上について	10	13:20-14:00	102
		G22-3	山下 和範	当院の災害マニュアル全面改訂とその充実化	10	13:20-14:00	102
		G22-4	阿部 喜子	エマルゴトレーニングを用いた災害マニュアルの検証～初動体制に焦点を当てて～	10	13:20-14:00	102
G23	病院における災害訓練1	G23-1	塚田 博明	災害時の院内被害状況把握のための情報収集方法の考察	10	14:05-15:05	102
		G23-2	小田 由美子	救急外来における多数傷病者受入れ時の情報掲示板～ホワイトボードの作成を試みて～	10	14:05-15:05	102
		G23-3	藤森 茂	諏訪赤十字病院におけるメールによる、緊急連絡体制の構築	10	14:05-15:05	102
		G23-4	吉次 育子	多数傷病者受け入れ時の救急部看護師の役割—机上訓練を実施して—	10	14:05-15:05	102

第13回日本集団災害医学会総会 一般演題採択結果

第1会場:大ホール 第2会場:中ホール300 第3会場:中ホール200 第4会場:102号室 第5会場:101号室

【2月10日(1日目)】

セッションNo.	セッション名	演題No.	代表演者名	演題名	日	時間	会場
G24	病院における災害訓練2	G23-5	尾山 とし子	被災病院の初動体制を課題とした机上シミュレーションからの学び	10	14:05-15:05	102
		G23-6	前田 裕仁	災害訓練中における過換気症候群を発生し対処に苦慮した模擬患者役スタッフ	10	14:05-15:05	102
		G24-1	藤原 奈美	医師、看護師を除く病院職員によるトリアージの有用性	10	15:10-16:10	102
		G24-2	望月 俊明	模擬患者の視点から災害訓練を評価する利点	10	15:10-16:10	102
		G24-3	緑川 新一	空港での多数傷病者を想定した病院内災害訓練	10	15:10-16:10	102
		G24-4	太田 智之	災害サイクルを重視した災害机上訓練の経験	10	15:10-16:10	102
		G24-5	中道 親昭	訓練を通して考える大事故災害時のドクターヘリ運用について	10	15:10-16:10	102
G25	アクションカード	G24-6	山内 聡	宮城県沖地震に備えた病院での災害訓練	10	15:10-16:10	102
		G25-1	柏谷 智子	ICUにおける災害時避難処置・施設点検カードの作成～アクションカードを用いた災害訓練から学んだこと～	10	16:15-17:05	102
		G25-2	高村 将志	院内初動期アクションカード作成の取り組み	10	16:15-17:05	102
		G25-3	中野 浩	アクションカードを用いた災害訓練の問題点	10	16:15-17:05	102
		G25-4	武田 多一	災害対応アクションカード作成ワークショップによる災害拠点病院の災害対応教育	10	16:15-17:05	102
		G25-5	丸山 義彦	アクションカードを活用した災害訓練	10	16:15-17:05	102
G26	中越沖地震	G26-1	榛沢 和彦	中越沖地震におけるDVT頻度と中越地震におけるDVT頻度の比較	10	9:00-10:15	101
		G26-2	笛木 はるな	1年目研修医の救護活動—新潟県中越沖地震を経験して—	10	9:00-10:15	101
		G26-3	池内 淳子	新潟中越沖地震および能登半島地震における病院施設被害	10	9:00-10:15	101
		G26-4	二宮 宣文	平成19年新潟県中越沖地震災害医療本部立ち上げ	10	9:00-10:15	101
		G26-5	富岡 正雄	新潟中越沖地震における災害医療の新聞報道について	10	9:00-10:15	101
		G26-6	藤森 茂	中越沖地震で試された当院の災害対応体制	10	9:00-10:15	101
G27	能登半島地震	G27-1	上野 伸一	救急隊からみた能登半島地震における現地対応とDMATの現状と課題	10	10:05-11:05	101
		G27-2	稲葉 英夫	能登半島地震における消防機関・行政による災害医療活動	10	10:05-11:05	101
		G27-3	和藤 幸弘	2007年能登半島地震の概要と傷病者管理	10	10:05-11:05	101
		G27-4	上條 幸弘	能登半島地震での諏訪赤十字病院救護班の救護活動	10	10:05-11:05	101
		G27-5	大河 和美	アンケート結果からみる能登半島地震体験時の職員の行動	10	10:05-11:05	101
		G27-6	阪上 学	急性期災害対応から亜急性期災害対応への移行について:能登半島沖地震への医療班派遣を経験して	10	10:05-11:05	101
G28	災害時の薬剤管理	G28-1	櫻井 孝	新潟県中越沖地震災害救護における薬剤師の活動	10	11:10-12:00	101
		G28-2	高畑 昌代	災害時院内初動体制確立における薬剤師の役割	10	11:10-12:00	101
		G28-3	海老原 卓志	新潟県中越沖地震での医療支援活動—薬剤師として健康相談チームに参加して—	10	11:10-12:00	101
		G28-4	小川 薫貴	薬剤師の災害時医療薬品管理～能登半島地震ボランティア活動から～	10	11:10-12:00	101
		G28-5	渡邊 暁洋	災害時における医療品管理について～新潟中越地震・新潟中越沖地震の事例より～	10	11:10-12:00	101
G29	緊急展開ユニット	G29-1	定岡 由典	大規模災害対応救急隊「BLUE-CAT」の創設について～JR福知山線列車脱線事故を教訓に～	10	13:20-14:10	101
		G29-2	加藤 圭	航空機動衛生隊及び機動衛星ユニットの概要について	10	13:20-14:10	101
		G29-3	新貝 泰英	現場救護所および特殊救急車(スーパーアンビュランス)の効率的な運用方法について	10	13:20-14:10	101
		G29-4	丸山 嘉一	新潟での2回にわたる国内型緊急対応ユニット(dERU)使用経験の比較検討	10	13:20-14:10	101
		G29-5	丸山 雅孝	平成19年新潟県中越沖地震におけるdERU(国内型緊急対応ユニット)の活用経験	10	13:20-14:10	101
G30	避難所生活・被災者生活支援のための医療	G30-1	中村 茂美	災害時における高齢者の生活機能に関する研究(3)—能登半島地震におけるとりくみ—	10	14:15-15:05	101
		G30-2	大川 弥生	災害時医療の新たな対象としての生活機能—被災者中心のチームワークの共通言語として—	10	14:15-15:05	101
		G30-3	富尾 淳	災害時における外来通院患者の問題点	10	14:15-15:05	101
		G30-4	後藤 哲郎	2007年能登半島地震における避難所救援医療	10	14:15-15:05	101
		G30-5	土屋 留美	避難所巡回診療におけるプロトコルの提案	10	14:15-15:05	101
G31	災害医療と保健所・保健センター	G31-1	鎌田 裕十朗	災害時における保健所と保健センターの役割の相違について	10	15:10-16:00	101
		G31-2	野尻 孝子	災害時の健康危機管理と保健所の役割	10	15:10-16:00	101
		G31-3	田中 浩之	保健所を災害医療コーディネーターに据えた、多医療機関合同災害シミュレーションとその後の中越沖地震の体験	10	15:10-16:00	101
		G31-4	橋 とも子	集団食中毒等健康危機管理対策の人材育成におけるケースメソッドおよびe-Learningの活用・評価について	10	15:10-16:00	101
		G31-5	橋 とも子	地方自治体の公衆衛生従事者に対する災害等健康危機管理研修に関する評価について	10	15:10-16:00	101